

那珂川水系最上流部における農業生態系の保全活動

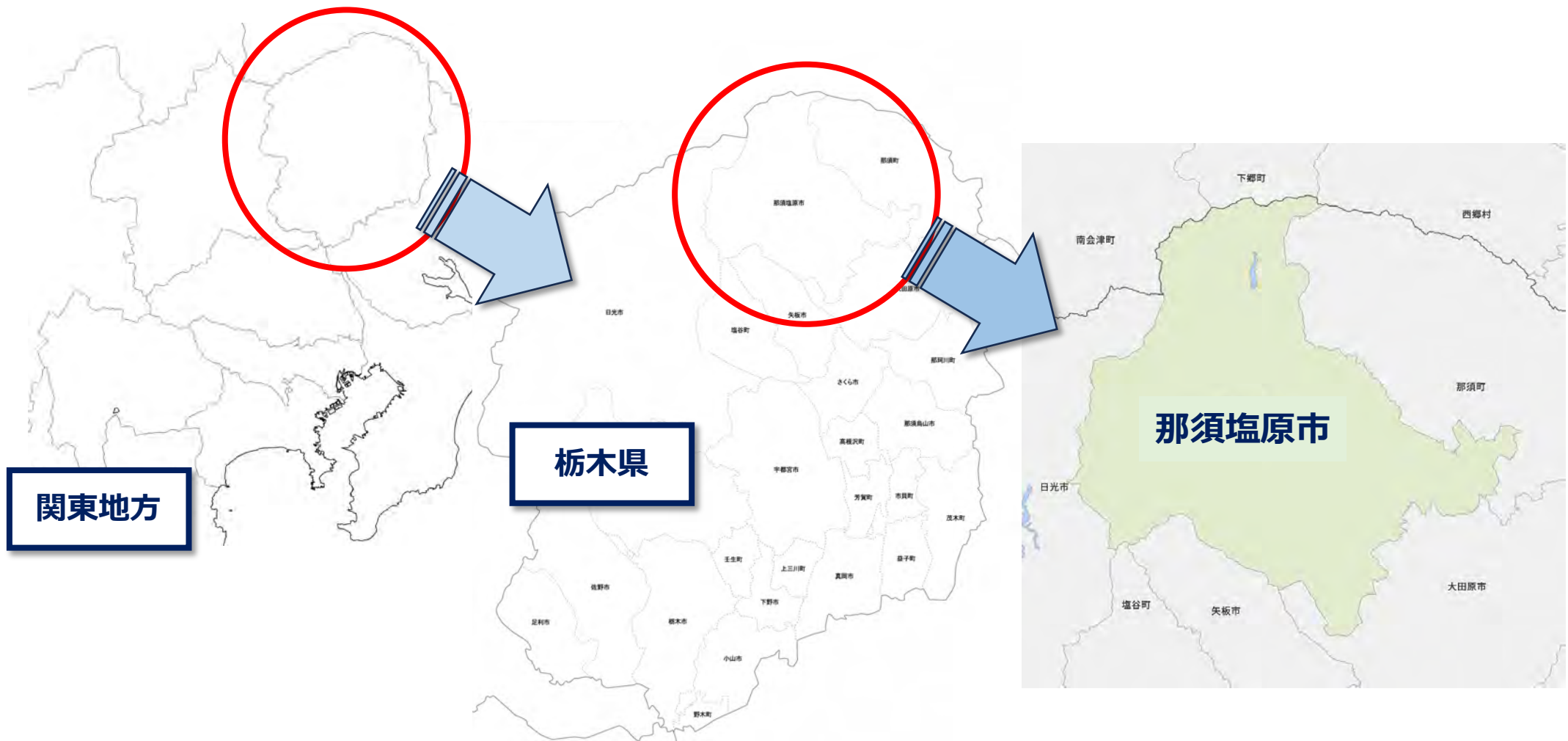


那須塩原市

環境戦略部 ネイチャーポジティブ課

山本 達也

那須塩原市について



■人口：約113,000人

■面積：592.74km²

■栃木県北部、関東最北端

★生乳生産額は本州一（全国2位）

★世界の持続可能な観光地TOP100選に選出（2年連続）

★脱炭素先行地域に選定

那珂川流域と事業対象地域



那珂川流域の全体図



本事業の対象地域

那須野が原扇状地

谷津田が広がる里山的景観



那珂川流域の地図

出典：株式会社Mizkanホームページ「ミツカン水の文化センター」



活動の背景・ねらい



那珂川流域の最上流部に位置しているため、下流域の水利用に対して責任を負っている。

最上流部における農業生態系保全は、保水機能の保持や向上により『流域全体』の利益につながる。

流域の最上流部に位置する那須塩原市において、多様な主体が連携しながら、水田、河畔林、小河川、ため池などから構成される農業生態系の一帯を保全・再生・創造することにより、次の3つのメリットが相乗的に生み出されることを目指す。

絶滅危惧種等の生息環境の創出

農作物の高付加価値化

災害に対するレジリエンス機能の強化



絶滅危惧種を含む農業生態系の保全により、「絶滅危惧種の生息する地域」という農作物の付加価値向上（農業者や消費者にとっての魅力度向上）や、農業生態系の保全機能 による災害に強い上流部を創出する（安心して暮らせる）ことにつながる。

実施内容①



絶滅危惧種等の生息環境の創出

水路やため池におけるタナゴ類、二枚貝、ヨシノボリ類など
（農業生態系の健全性を測る指標種）の生息状況調査

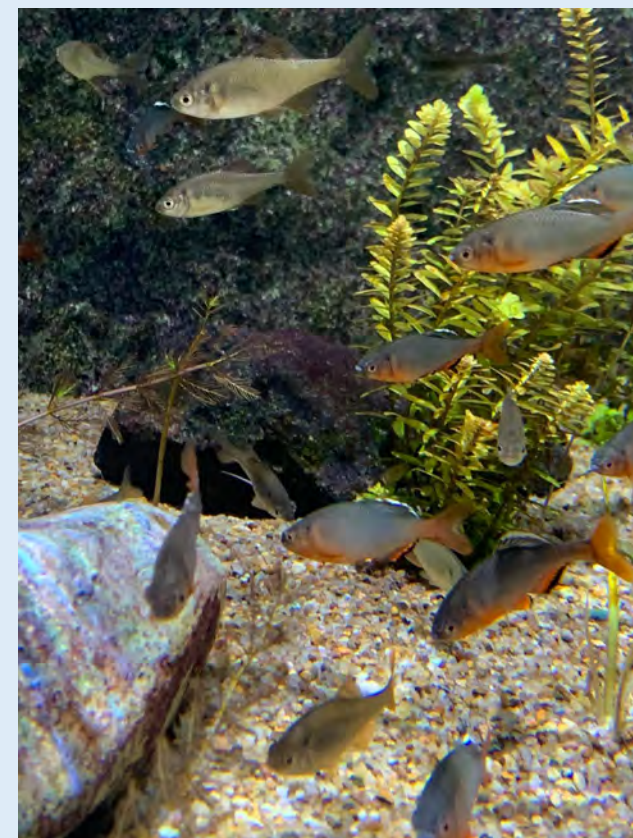
ため池の水質調査及び底泥性状調査

池干しによる生物調査・外来種駆除



調査に基づき、上記生物の生息適地ポテンシャルマップを作成

⇒ 生息適地ポテンシャルマップを地元住民や地元農業者と共有し、
良好な生息環境保全を実現させるためのツールとして活用



ミヤコタナゴ

実施内容①



絶滅危惧種等の生息環境の創出

水路調査の様子



地元の那須拓陽高校、市内事業者、地元農家、ため池管理者、環境市民団体など、約20名の関係者で実施。

実施内容①



絶滅危惧種等の生息環境の創出

ため池調査の様子



地元の那須拓陽高校（OBも）、市内事業者、地元農家、ため池管理者、環境市民団体、市動植物調査研究会など、約40名の関係者で実施。



農作物の高付加価値化

本事業の取組対象のため池の水を引いている水田で生産した米

- ・ 希少種の生息環境の保全に向けた取組
- ・ 効果的かつ継続的な外来種駆除
- ・ ため池の適切な使用（生物多様性に配慮）や維持管理（水質・底泥）



生物多様性に配慮した農地で生産されたことを付加価値として、**ブランド化**を目指す。

付加価値を付けるべき ため池・水田を認定し、那須拓陽高校の生徒がデザイン・制作した米袋の使用やステッカーによる表示のほか、販売店において販促グッズや米のPRとともに販売すること等を検討。

⇒ **まずは実践し、今後の実装につなげていく。**



災害に対するレジリエンス機能の強化

■ 那須水害

平成10年（1998年）8月、北日本や東日本各地で8月の月平均降水量を上回る大雨となり、栃木県北部や福島県などでは記録的な大雨となった。

豪雨災害により、死者22名、行方不明者2名、負傷者55名、住家の全・半壊及び一部破損506棟、床上浸水3,328棟、床下浸水11,518棟の被害が発生した。

那珂川上流で発生した洪水が下流へと伝播し、被災市町村は、豪雨域となった栃木県北部から、雨量の少なかった茨城県内にまで広く及んだ。





災害に対するレジリエンス機能の強化

生物多様性がもたらす防災効果

- ▼災害緩衝機能
 - ・森林、湿地、河川 など
- ▼生態系サービスの維持
 - ・食料供給、水供給 など

生物多様性の減少がもたらすリスク

- ▼災害リスクの増大
 - ・森林の減少、湿地の減少、河川の改修 など
- ▼生態系サービスの低下
 - ・食料不足、経済的な損失 など

生物多様性を保全するための取組

- ▼生態系保護地域の設定、持続可能な土地利用、外来種の侵入防止、地域住民の意識啓発 など

生物多様性は、私たちが安全に暮らすための基盤。

生物多様性を保全することは、防災力を高めることにつながる。

⇒ 農業生態系を保全することによって得られる公益的な効果の評価を検討



那須拓陽高校と連携して進めてきた取組だが、**地域住民、地元農業者、ため池管理者、地元企業、関係団体などにも少しずつ広まりつつある。**

今後、本事業による各種調査結果に基づく生息適地ポテンシャルマップや事業の実施成果を当該地域に還元するとともに、さらに多くの主体を巻き込み、共にこの地域の農業生態系保全や地域活性化に向けた連携を図っていけるよう継続して取り組む必要がある。

今後は…

- ◎ **（行政主導ではなく）地域における自走化**
- ◎ **農業生態系保全や地域活性化のモデルとして、ほかの地域においても応用**

那須塩原市は、企業の皆様からの 「企業版ふるさと納税」を募集しています！

- ★サステナブルな取組を、市外の企業様からも寄附をいただきながら実施していきたい！
- ★市内に事業所がない企業様にも、ぜひ社員研修や環境保全活動の場にしていただきたい！

企業版ふるさと納税という形で、ネイチャーポジティブの実現に向けて連携しませんか？



企業、環境ボランティア団体、市などが連携して実施したシカ防除ネット設置作業（希少植物の食害対策）の様子